

# 幼 兒 の 教 育

昭 和 九 年 一 月

## 國に充つる光と喜

昭和八年十二月二十三日、その日出に先んじて、光と喜は全國を充たしてゐた。

その朝日の輝の特に赫々として天地に擴がり充ちたこまはいふまでもない。帝都の空は晴朗につぐに晴朗。二十九日の御命名式を経て、更に晴朗また晴朗。雲なく風なく和陶春の如き元旦を以て新年を迎へた。晴朗は晝に止まらない。夜も亦清明。殊に一日の夜は團々たる満月皓々として、晴朗白晝の如くであつた。つゞいて三ヶ日、松の内、七草、晴朗更に尙ほまた晴朗、こましの正月の何んたる輝かしいこまよ。

國はいま光と喜に充ちてゐる。國民の心はいま光と喜に充たされてゐる。あ、よき國日本。うれしい哉、この國の民たる。光の國日本。喜の民日本人。

(倉橋惣三)